

# はつめいたぶせ

田布施町少年少女発明クラブ  
令和7年5月7日号  
発明クラブ事務局発行

## ◎令和7年度開講式 ～今年度の活動が始まりました～

令和7年度田布施町少年少女発明クラブの開講式を、去る4月19日(土)田布施西小学校講堂において実施し、今年度の活動が始まりました。今年度のクラブ員は小学3年生から6年生まで計15名です。

式では、高橋会長より「工作は一生の楽しみ、知のスポーツである。道具の使い方でなく、ものづくりやチャレンジ創造コンテストに取り組む中で、協力性やチームワークを身につけてほしい。」とあいさつがあり、鳥枝教育長からは「発明クラブは、平成7年の発足以来、延べ700名超のクラブ員が活動してきました。発明は、身のまわりにヒントが沢山あります。「なぜ」「どうして」と身のまわりを観察し、自分の手で生み出す喜びを感じてほしい。



現代はネットワークで世界中の人とつながる時代、みなさんも広い視野をもって頑張ってもらいたい。」と祝辞をいただきました。来賓紹介、指導員紹介の後、麻郷小学校6年生、松村花凜さんがクラブ員代表のことは述べ、クラブ員みんなで指導員の先生方に「よろしくお願ひします。」とあいさつをしました。

保護者、地域の皆様も、1年間、発明クラブの活動を温かく見守っていただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

【城後援会長様 祝辞】 城 英明後援会長様がご欠席であったため、メッセージをお預かりしました。

今年入会された15名のみなさん、こんにちは！田布施町少年少女発明クラブの後援会長、城です。

本クラブは、平成7年の発足以来31年目を迎える、歴史あるクラブです。また、高橋会長をはじめ素晴らしい指導員の先生方もいらっしゃいます。その中で自分の思い描いたものや「こんなものがあつたらいいな」というものを形にしたいと思います。「失敗は成功のもと」と言います。何度も繰り返し挑戦し、わからないことは相談し、試行錯誤しながら追求してほしいです。また、おもちゃや色々なものを見るとき、「何で動くのだろう」「どうしてこうなるのだろう」と考えてみてください。最近ではデジタルの時代でIT、AIの時代ですが、AIも人間が作り出したもの、中身は見えなくとも、モノづくりの基本は、アナログの手作りと柔軟な発想だと思ひます。

発明クラブでは、学校では学べないことやお家では経験できないことをたくさん経験でき、これからの人生でよい思い出として、将来きっと役立つと思ひます。作品展やチャレンジコンテストなど、それぞれの目標に向けて頑張り、さらに、田布施中学校の科学実験や工作、田布施農工高等学校の電子工作を通じて「モノづくり」の楽しさを味わってください。

高橋会長はじめ、指導員の先生方、一年間よろしくお願ひいたします。

田布施町には色々な企業がありますので、後援会としてこれからも応援していきたいと思ひます。引き続きよろしくお願ひいたします。

### ◇「ものづくり」のために◇

発明クラブの活動が本格的に始まりました。

4、5月の3回の活動では、基本工作として「小物入れの製作」に取り組んでいます。

この基本工作は、「ものづくり」の基本（図面を見る、描く、材料にけがきをする、切断する、組み立てる…）を身につけてもらうために昨年度から始めたものです。初めての人はもちろん、2年目3年目の人も、材料の準備や道具の使い方に慣れ、楽しく安全に工作に取り組むため、この基本工作を大事にしていきたいと思ひます。



### ◇親の会役員の皆様◇

【会長】

松村文彦さん

【副会長】

田原祐子さん

【副会長(監事)】

下間やよいさん

1年間どうぞよろしくお願ひいたします。



### 【今後の予定】

5/10(土) 基本工作【小物入れ】切断

5/24(土) 基本工作【小物入れ】組み立て

◇会場はいつでも田布施西小学校図工室です。

◇交通安全に気をつけて参加してください。

◇タオルや飲料の準備をお願いします。



### 【事務局モア伊の独り言】

祖父がミシン店を営んでいたこともあり、幼少時より道具と潤滑油のにおいの中で育ってきました。近所には建具などを作られている木工所があり、木切れをもらってはのこぎりやかなづちで飛行機や船(と自分では思っていた)を作っていました。自分で道具を買うようになって思うのは、祖父ののこぎりやかんなの切れ味が抜群であったこと。手入れをして大切に使用していたんだなあ、と。今になって祖父の道具に対する思いの深さを感じています。



発明クラブの活動に関するご連絡、お問い合わせは、事務局まで【社会教育課：52-5813(担当:角田)】